

琉球絣の発展を目指して ～琉球絣事業協同組合の取り組み～

琉球絣事業協同組合では内閣府から「沖縄型産業中核人材育成事業」を受託し、産地を牽引する人材の育成に取り組んでいます。伝統工芸産業の活性化のための「デザインカ」や「括り」といった技術の習得、そしてブランド力向上による付加価値を増大させるマーケティング力の強化、工房運営に必要な経営の高度化・基盤強化といったカリキュラムを実施しています。



本事業の成果発表とシンポジウムが南風原文化センターで2月22日・23日に行われました。10名の研修生が制作した、琉球絣の反物やデザイン画、作品名とその思いを示したパネルの展示や、研修生によるプレゼンテーションが行われ、会場には70名を超える来場がありました。また成果展では10名の作品の展示にくわえ、絣の制作工程である種糸取りとくくりの実演、琉球絣の製織の実演が行われました。



後継者育成事業閉校式

昨年7月に開講した平成30年度琉球絣後継者育成事業の閉講式が2月15日に行われました。今年度は6名の受講者が8カ月をかけて琉球絣のデザインや染色、製織等を学びました。今後は、各工房に配属され、新たな担い手として琉球絣の継承・発展に取り組んでいきます。



【お問い合わせ】 産業振興課 ☎889-4430